

- 氏名 : 佐藤 貴紀
- 会員番号 : FE-0429
- 専門分野 : コンクリート構造物・港湾構造物の設計

海外の設計コンサルタントに派遣される可能性が出てきたこと、会社上司からの勧めがあり、PE 取得を目指し、まずは FE の受験を 2 月に決心しました。そして、勉強の着手と同時に試験日を設定し、4/1 に FE 試験を受験しました。学習に使用した教材は、次の 3 つです。

- ① NCEES FE Reference Handbook 10.2 (effective with exams beginning July 1, 2022)
- ② NCEES FE Civil Practice Exam
- ③ PPI FE Civil Practice Comprehensive Practice for the NCEES FE Civil Exam Michael R. Lindeburg PE (著)

NCEES FE Civil Practice Exam は、間違えた問題を重点的に繰り返し解きました。全問すぐに解答できるレベルまでやり込みました。NCEES FE Reference Handbook は紙出力し、問題を解く上で参照した箇所をマーカーで明示し、すぐに該当ページにたどり着けるように、数式や図表の記載箇所の確認をしました。PPI FE Civil Practice Comprehensive Practice は、全問 1 回は解きましたが、若干出題形式が異なるように思ったこと、問題数がとても多いこと等から、限られた期間内では全てを完璧にすることはできず、後半部分の問題のみ 2 回解いた程度です。勉強期間は平日帰宅後に 1~2 時間、週末は 2~3 時間程度を確保し、約 1 か月間を試験勉強にあてました。

試験当日の問題は、NCEES FE Civil Practice Exam とほぼ同じ難易度であるように思いました。試験開始直後に、午前中に解くべき 55 問にかけてよい目標時間を決め、10 問解き終わる毎に計画から遅れていないかを確認しながら解き進めました。午前中に解くべき 55 問 及び 全 110 問を解き終わった際の試験の残り時間はほぼなく、その時点で解けなかった数問の問題のみ解き直す時間はありましたが、その他のチェックを付けた問題を見直す時間はありませんでした。

結果は 4 日後の 4/5 に開示され、無事合格していました。試験では PC 上で NCEES FE Reference handbook を頻繁に確認することになるため、検索機能を駆使して、如何に必要な情報にたどり着けるかがポイントのように思いました。また、Pearson VUE の試験日の予約枠は限られており、特に土日の枠は少ないので、早めに予約をした方が良いと思います。

以上